

宇都宮市立陽西中学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
「わかる授業」の展開、 授業力向上	・授業づくりの重点目標を作成し、「一人一授業」の公開を実施し、授業の改善点や指導方法などについて話し合う研修の場を設ける。 ・ユニバーサルデザインの視点を活かした授業づくりの実践を通して、より多くの生徒にとって分かりやすく学びやすい授業作りを心がけ、授業力の向上に努める。 ・授業の学びのサイクル「つかむ」「学び合う」「まとめる」振り返る」の適切な位置づけを共通理解し、特に授業の「めあて」と「振り返り」を明確に提示し、掲示用カードを各教室に配置する。 ・生徒の理解力に合わせた1人1台端末の効果的な使い方を工夫していくなど、ICT機器を有効に活用し、より具体的に分かりやすい授業の展開を工夫する。	・「学校の授業がどの程度分かりますか」との設問で、本校の肯定的割合は3学年とも市の平均を下回っている(1年 -2.1 2年 -3.1 3年-1.4)が、8割程度を維持している。特に3年生は、昨年度(2年次)より12.1ポイント上がった。 ・「学習していて、いろいろなことが分かったり、できるようになったりすることはうれしい」との設問では、各学年とも9割近くの生徒(1年 89.8 2年 87.8 3年 94.4)が肯定的に回答している。
基礎・基本の確実な定着	・数学科および英語科において、チームティーチングや習熟度別学習を行い、学習が遅れがちな生徒の支援を行う。 ・定期テスト前の期間に、放課後の時間を利用し、「質問学習」を行う。各教科の担当教師に授業での分からないところを質問する時間とし、授業での理解が十分でなかったところの補習を行う。 ・平日の放課後1～2時間程度、希望者に対して数学を中心とした「レベルアップ学習」を行い、自習をしたり分からない所を質問したりできる時間を設けることで、基礎学力が不十分な生徒の個別指導を行う。 ・希望者を対象に、地域協議会との共催で、月に2回程度「土曜学習サポート」を実施する。学習指導員を配し、2時間程度学習の時間を設け、わからないところを質問したり自習したりしながら理解を深めさせる。	・3年の5教科とも、基礎・活用ともに市の平均を下回っている。 - 国語 基礎-2.1 活用-0.6 - 社会 基礎-4.6 活用-3.2 - 数学 基礎-3.7 活用-3.5 - 理科 基礎-3.7 活用-4.2 - 英語 基礎-4.3 活用-3.9 ・「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる」との設問では、各学年ともに肯定的に回答をした生徒の割合は、市の肯定割合を下回った。(1年-3.2 2年-12 3年-3.2)

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

- ・P D C Aサイクルを踏まえて、教師が指導の改善を図るとともに、生徒自らが学習を振り返って次の学習に向かうことができるように授業の「めあて」と「振り返り」をしっかりと行っていく。
- ・年度初めに、陽西地域学校園で作成した「家庭学習の手引き」をもとに、家庭学習の取組について様々な場面を通して指導を行い、家庭学習の習慣化を図る。
- ・各教科で自主学習に使用できるプリント等を『自主学習のたね』として準備し、生徒が自由に持ち帰ることができるようにしておき、何をやってよいかわからない生徒への助けとする。また、随時新しい内容(プリント)に更新したことを知らせるボードを設置し、自主学習への取組を促す。
- ・一人一台端末を効果的に活用して、視覚・聴覚にも訴える、より分かりやすい授業を工夫していく。